基本操作ガイド

HP製品およびサービスについて詳しくは、HPのWebサイト、http://www.hp.com/jp/を参照してください。

製品番号：610534-291

ユーザー ガイド

HPでは、当社製品が環境に与える影響を減らすための取り組みを行っています。この取り組みの一環として、コンピューターのハードドライブ上の**[ヘルプとサポート]**に『ユーザー ガイド』および**[ラーニング センター]**を含めています。追加のサポート情報および『ユーザー ガイド』の最新版をWebサイトで参照できます。

Windowsユーザー

各種ユーザー ガイドを参照するには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順にクリックします。

Linuxユーザー

各種ユーザー ガイドについては、お使いのコンピューターに付属の『User Guides』（ユーザー ガイド）ディスクを参照してください。

ビジネス ノートブック コンピューター用登録サービス

最新ドライバー、パッチ、および情報などで、この製品を最新の状態に保てます。メール ニュースの配信を希望する場合は、http://www.hp.com/go/alerts/でご登録ください。

使用許諾契約書（EULA）

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用することによって、お客様はHP EULAの条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を14日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。

サポート窓口へのお問い合わせ

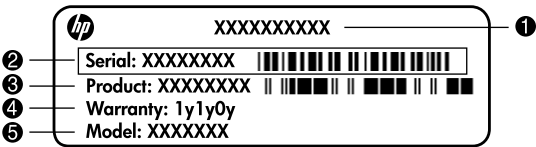
『ユーザー ガイド』または[**ラーニング センター**]で説明されている情報を参照しても問題が解決しなかった場合は、HPのWebサイト、http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html を参照してHPのサポート窓口にお問い合わせください。

上記のWebサイトでは、以下のようなサービスを利用できます。

- HPサポート エンジニアとのオンライン チャット
- 電子メールでのサポート窓口へのお問い合わせ
- HP販売店の検索

Webサイト以外のお問い合わせ方法につきましては、製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』をご覧ください。

シリアル番号ラベル情報

コンピューターの裏面に貼付されているシリアル番号ラベルには、サポート窓口に問い合わせる場合に必要になることがある重要な情報が記載されています。

❶	製品名	❹	保証期間
❷	シリアル番号	❺	モデル番号（一部のモデルのみ）
❸	製品番号		

保証に関する情報

お使いの製品に適用されるHP限定保証規定は、日本向けの日本語モデルの製品では、製品に同梱されている『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています。印刷物が添付されていない国または地域では、コンピューターの[スタート]メニューまたは付属のCD/DVDに明示的に記載されています。印刷物として保証規定が提供されていない国または地域では、http://www.hp.com/go/orderdocuments/（英語サイト）でオンラインで申し込むか、または下記宛てに郵送で申し込むことで、印刷物のコピーを入手できます。

北米：

Hewlett Packard, MS POD, 11311 Chinden Blvd, Boise, ID 83714, USA

ヨーロッパ、中東、アフリカ：

Hewlett-Packard, POD, Via G. Di Vittorio, 9, 20063, Cernusco s/Naviglio (MI), Italy

アジア太平洋：

Hewlett-Packard, POD, P.O. Box 200, Alexandra Post Office, Singapore 911507

郵送で申し込む場合は、お使いの製品番号、保証期間（シリアル番号ラベルに記載されています）、お客様のお名前、および郵送先の住所を明記してください。

目次

第5章 ネットワーク

第6章 ソフトウェアの使用

第7章 バックアップおよび復元（Windowsのみ）

第8章 コンピューターの手入れ

付録A トラブルシューティング

付録B 仕様

索引

第1章 次の手順

コンピューターをセットアップしたら、コンピューターの使用を開始する前に、このガイドに記載されている重要な作業を行う必要があります。たとえば、有線/無線ネットワーク機能のセットアップ手順などです。また、コンピューターの保護および手入れに役立つ情報も記載しています。まずこの章をすべて読み、必要な作業および詳細情報の参照先について確認します。詳しくは、該当する章を参照してください。なお、日本ではコンピューター本体の登録は行っていませんので、コンピューターをセットアップするときに登録画面が表示された場合は、[省略]または[スキップ]などを選択して次に進んでください。

コンピューターの各部の名称および位置について確認するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]の順にクリックして、『ユーザー ガイド』を参照してください。

[HP QuickWeb]の概要（一部のモデルのみ）

コンピューターをセットアップしたら、[HP QuickWeb]を有効にできます。Microsoft® Windows®オペレーティング システムを起動することなく、音楽、デジタル写真、およびWebにすばやくアクセスできます。詳しくは、「第3章 [HP QuickWeb]の使用（一部のモデルのみ)」を参照してください。

リカバリ ディスクの作成

コンピューターをセットアップしたら、まず工場出荷時のイメージ全体のリカバリ ディスクを作成する必要があります。システムの動作が不安定になった場合または障害が発生した場合、オペレーティング システムおよびソフトウェア プログラムを復元するためにリカバリ ディスクが必要です。手順については、「第7章 バックアップおよび復元（Windowsのみ)」を参照してください。

インターネットへの接続

リカバリ ディスクを作成したら、有線または無線ネットワークをセットアップします。ネットワークをセットアップすると、電子メールを送受信したり、インターネットに接続したりできるようになります。詳しくは、「第5章 ネットワーク」を参照してください。

ウィルス対策ソフトウェアのアップデート

インターネットへ接続したら、必ずお使いのウィルス対策ソフトウェアをアップデートしてください。ソフトウェアはコンピューターにプリインストールされており、試用期間中は無料でアップデートできます。ウィルス対策ソフトウェアは、ウィルスによる攻撃からお使いのコンピューターを保護するために役立ちます。詳しくは、「第4章 コンピューターの保護」を参照してください。

コンピューターに関する情報の確認

以上の作業が完了したら、コンピューターの機能についてより詳しく調べたり、別売の外付けオーディオ デバイスなどの追加コンポーネントをセットアップしたりします。

コンピューター上の[ヘルプとサポート]の[ユーザー ガイド]から『ユーザー ガイド』を確認してください。『ユーザー ガイド』には、コンピューターの使用に関する詳しい情報が記載されています。『ユーザー ガイド』の参照方法については、「第2章 情報の確認」を参照してください。

コンピューターに搭載されているエンターテイメント機能、および各機能に関する詳細情報の参照先を、以下に示します。

■ **マルチメディア ソフトウェア**：コンピューターには[HP MediaSmart]などのマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。[HP MediaSmart]を使用すると、コンピューターを持ち運び可能なエンターテイメント ツールとして利用できます。詳しくは、「第6章 ソフトウェアの使用」を参照してください。

■ **オーディオ**：コンピューターにはスピーカーが内蔵されています。内蔵スピーカーの使用について、および別売の外付けオーディオ デバイスのセットアップについて詳しくは、[ヘルプとサポート]の[ユーザー ガイド]から『ユーザー ガイド』を参照してください。

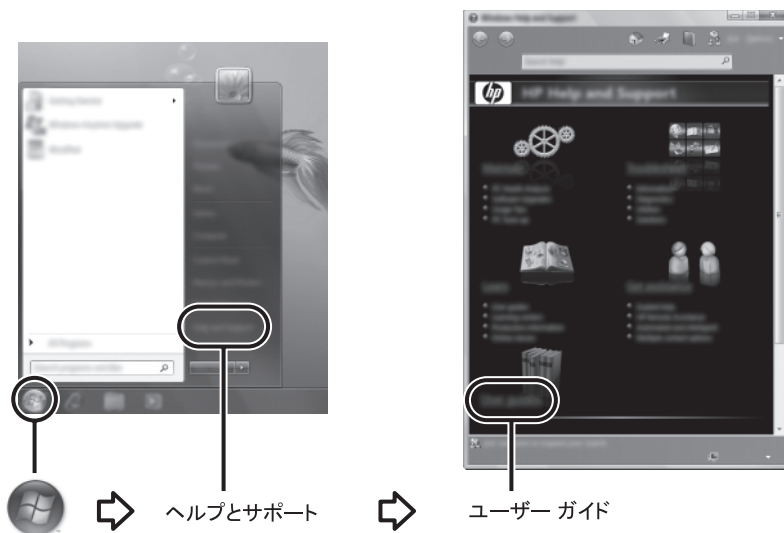
■ **ビデオ**：別売のディスプレイ デバイスまたはHDMI（High Definition Multimedia Interface）デバイスをコンピューターに接続できます。オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）を使用してHD対応の映画を視聴することもできます。ビデオ機能について詳しくは、[ヘルプとサポート]の[ユーザー ガイド]から『ユーザー ガイド』を参照してください。

✎ 一部のモデルのコンピューターでは、映画を視聴するために[HP MediaSmart]ソフトウェアを使用する必要があります。

- Webカメラ : 高感度イメージ テクノロジ搭載の調節式カメラおよび内蔵マイクから構成されるWebカメラは、インスタント メッセージ プログラムでの使用に最適です。Webカメラについて詳しくは、[ヘルプとサポート]の[ユーザー ガイド]から『ユーザー ガイド』を参照してください。

第2章 情報の確認

電子版ガイドの確認

電源の管理、ドライブ、メモリ、セキュリティ、およびその他の機能など、コンピューターの機能およびコンポーネントについて詳しくは、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順にクリックします。**[ヘルプとサポート]**の**[ユーザー ガイド]**から『ユーザー ガイド』を参照する場合、インターネットに接続する必要はありません。

✎ 一部のモデルのコンピューターでは、『ユーザー ガイド』が付属の『User Guides』(ユーザー ガイド)ディスクに収録されている場合もあります。

詳細情報の確認

[ヘルプとサポート]では、『ユーザー ガイド』以外の場所からも、オペレーティング システム、ドライバー、トラブルシューティング ツール、およびサポート窓口へのお問い合わせに関する情報を確認できます。**[ヘルプとサポート]**にアクセスするには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順にクリックします。お住まいの国または地域のサポート情報については、http://www.hp.com/support/でお住まいの国または地域を選択して、画面の説明に沿って操作してください。

警告：操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しています。また、重要な電気的/物理的安全基準についての情報も提供しています。**[ヘルプとサポート]**からこの文書を参照するには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順にクリックします。一部のモデルでは付属の『User Guides』（ユーザー ガイド）ディスクにも収録されています。また、HPのWebサイト（http://www.hp.com/ergo/から**[日本語]**を選択します）からも入手できます。

安全情報および規定情報について、およびバッテリの処理については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。**[ヘルプとサポート]**からこの文書を参照するには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順にクリックします。一部のモデルでは付属の『User Guides』ディスクにも収録されています。

第3章 [HP QuickWeb]の使用 （一部のモデルのみ）

[HP QuickWeb]は、Windowsオペレーティング システムとは別の、オプションのインスタント起動環境です。[HP QuickWeb]を使用すると、Windowsを起動することなく、Webブラウザーやその他の通信およびマルチメディア プログラムにすばやくアクセスできます。[HP QuickWeb]は、電源を入れてから数秒で使用できるようになり、以下の機能を備えています。

■ Web ブラウザー：インターネットを検索および参照したり、お気に入りの Web サイトへのリンクを作成したりします。

■ チャット：[Google Talk]、[Windows Live Messenger]、[Yahoo! Messenger]、その他のプロバイダーなどの複数のインスタント メッセージング プログラムを使用して友人とチャットします。

■ Skype：[Skype]は他の[Skype]ユーザーと無料で通信できるボイス オーバー インターネット プロトコル（VoIP）です。[Skype]を使用すると、電話会議やビデオ チャットを行ったり、固定電話へ長距離電話をかけたりできます。

■ Webメール：Yahoo、Gmail、その他のWebメール プロバイダーを使用して、電子メールを表示したり送信したりします。

■ Webカレンダー：お気に入りのオンライン カレンダー プログラムを使用して、スケジュールを表示、編集、および整理します。

■ 音楽プレーヤー：お気に入りの音楽を聴いたり、プレイリストを作成したりします。

■ フォト ビューアー:写真を参照したり、アルバムを作成したり、スライド ショーを表示したりします。

[HP QuickWeb]の最初のセットアップ

Windowsのセットアップ プロセスが完了した後、初めてシステムを起動すると、[HP QuickWeb]のセットアップ画面が表示されます。画面の説明に沿って操作し、[HP QuickWeb]を有効にします。プログラムを起動するには、[HP QuickWeb]の[Home]（ホーム）画面にあるアイコンをクリックします。

このセクションの図は、お使いの[HP QuickWeb]の[Home]画面と若干異なる場合があります。

以降のセクションでは、[HP QuickWeb]のセットアップ プロセスを完了し、[HP QuickWeb]を有効にしていることを前提にしています。詳しくは、[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP QuickWeb]の使用

[HP QuickWeb]を使用すると、Windowsを起動することなく、数秒でWebブラウザーやその他の通信およびマルチメディア プログラムにアクセスできます。コンピューターの電源が切れているときに[HP QuickWeb]を起動するには、以下の手順で操作します。

1. コンピューターの電源を入れます。[HP QuickWeb]の[Home]（ホーム）画面が表示されます。
2. [HP QuickWeb]の[Home]画面にあるアイコンをクリックして、プログラムを起動します。

[HP QuickWeb]を有効にすると、コンピューターの電源を入れるたびに[HP QuickWeb]が起動し、[**Windowsの起動**]アイコンの上に自動タイマーが表示されます。15秒間マウスを動かさないか、キーを押さない状態が続いた場合、Microsoft Windowsが起動します。[HP QuickWeb]のタイマーおよびタイマーの設定変更について詳しくは、[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Microsoft Windowsの起動

[HP QuickWeb]を有効にすると、コンピューターの電源を入れるたびに[HP QuickWeb]が起動します。[HP QuickWeb]のタイマーおよびタイマーの設定変更について詳しくは、[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Microsoft Windowsを起動するには、以下の手順で操作します。

1. コンピューターの電源を入れます。[HP QuickWeb]の[Home]画面が表示されます。
2. 15秒間マウスを動かさないか、キーを押さない状態にしてMicrosoft Windowsを起動するか、[HP QuickWeb]の[Home]画面の左端にある[**Windowsの起動**]アイコンをクリックします。Windowsを起動するかどうかを確認するダイアログ ボックスが表示されます。[**はい**]をクリックします。

このダイアログ ボックスの[**電源投入によってWindowsを初期設定のシステムとして起動する**]をクリックすると、[HP QuickWeb]が無効になります。[HP QuickWeb]を再び有効にするには、次の「[HP QuickWeb]のオン/オフの切り替え」を参照してください。

[HP QuickWeb]のオン/オフの切り替え

Windowsオペレーティング システム内から[HP QuickWeb]を無効または再び有効にするには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[HP QuickWeb]→[HP QuickWeb構成ツール]の順にクリックします。
2. [状態]タブをクリックして、[有効]または[無効]チェック ボックスにチェックを入れます。
3. [OK]をクリックします。

[HP QuickWeb構成ツール]は、[スタート]→[コントロール パネル]→[表示方法]矢印の順にクリックすることによってもアクセスできます。[大きいアイコン]または[小さいアイコン]を選択して、[HP QuickWeb構成ツール]を確認します。

[HP QuickWeb]の操作ボタンの確認

以下の表に、[HP QuickWeb]の操作ボタンを示します。

アイコン	説明
	Windowsオペレーティング システムを起動します
	コンピューターをシャットダウンします
	[Home]（ホーム）画面に戻ります（一部のモデルのみ）

起動バーのアイコンの確認

以下の表に、[HP QuickWeb]のアイコンを示します。

アイコン	説明
	Web ブラウザーを起動します。お気に入りのWebサイトをブックマークしたり、Web ページを表示したりできます
	チャット用アプリケーションを起動します。[Google Talk]、[Windows Live Messenger]、[Yahoo! Messenger]、およびその他のプロバイダーに対応しています
	[Skype] を起動します。これは、他の[Skype]ユーザーと無料で通信できるボイス オーバー インターネット プロトコル（VoIP）です
	Webメール用アプリケーションを起動して、Gmail、Yahoo、その他のWebメール プロバイダーなどの、Webベースの電子メール プログラムを表示できるようにします
	Webカレンダーを起動して、お気に入りのオンライン カレンダーのプログラムを使用してイベントのスケジュールを設定したり、イベントを管理したりできるようにします
	音楽プレーヤーを起動します。ハードドライブまたは外付けドライブに保存されている音楽を選択して再生します。.mp3、.aac（MPEG-4）、およびオーディオCD形式をサポートしています
	フォト ビューアーを起動します。ハードドライブまたは外付けドライブに保存されている写真を参照します。.jpg、.png、.gif、.tiff、および一部の .raw形式をサポートしています

通知アイコンの確認

以下の表に、通知アイコンを示します。

アイコン	説明
	USB ドライブが存在することを示します。USB ドライブが挿入されている場合は、[USB] アイコンを含む [File Manager]（ファイル マネージャー）のウィンドウが開きます。[File Manager]のウィンドウを開くには、**[USB]**アイコンをクリックします。デバイスを安全に取り出すためのメニューを開くには、**[USB]**アイコンを右クリックします
	ネットワークが接続されていることを示します。[ネットワーク] ダイアログ ボックスを開くには、**[ネットワーク]**アイコンをクリックします
	ネットワークが切断されていることを示します。[ネットワーク] ダイアログ ボックスを開くには、**[ネットワーク]**アイコンをクリックします
	スピーカーやマイクの音量を調整します。[ボリューム コントロール]ダイアログ ボックスを開くには、**[ボリューム コントロール]**アイコンをクリックします
	音が消えていること（ミュート）を示します。音を元に戻すには、このアイコンをクリックします
	[設定]パネルを起動します。[設定]パネルを使用して、日付や時刻などの[HP QuickWeb]の設定を変更します
	コンピューターが外部電源に接続されていることを示します。コンピューターが外部電源に接続されている場合は、電源コードが付いたバッテリのアイコンが表示されます。このアイコンでは電源設定も調整できます
	バッテリの充電状態を示し、コンピューターが外部電源に接続されていないことを示します。コンピューターがバッテリ電源で動作している場合は、バッテリのみのアイコンが表示されます ■ コンピューターが外部電源に接続されている場合は、電源コードが付いたアイコンが表示されます ■ コンピューターがバッテリ電源で動作している場合は、バッテリのみのアイコンが表示されます 充電状態は、[バッテリ]アイコンの色で示されます ■ 緑色：充電済み ■ 黄色：ロー バッテリ状態 ■ 赤色：完全なロー バッテリ状態 電源設定を調整するためのメニューを表示したり、バッテリ容量に関する情報を表示したりするには、**[バッテリ]**アイコンをクリックします
	[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを表示します

[設定]パネルの使用

1. コンピューターの電源を入れた後、[設定]アイコンをクリックします。[設定]パネルの選択ボックスが表示されます。
2. 変更するシステム設定に対応するアイコンをクリックします。以下のどれかから選択します。
   - [日時]
   - [入力言語]
   - [言語とキーボード]
   - [ネットワーク]
   - [環境設定]
   - [画面設定]
   - [ボリューム コントロール]
   - [アプリケーション]

✎ [設定]パネルでの設定の変更について詳しくは、[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ネットワークの設定

[HP QuickWeb構成ツール]を使用すると、無線接続をセットアップできるように[HP QuickWeb]を設定できます。このツールにアクセスするには、[設定]アイコン→[ネットワーク]の順にクリックし、[Enable Wi-Fi]（無線LANを有効にする）チェック ボックスにチェックを入れます。[HP QuickWeb]およびWindowsを使用した無線接続のセットアップについて詳しくは、「第5章 ネットワーク」および[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

音楽の再生

音楽を再生するには、以下の手順で操作します。

1. 起動バーの[音楽]アイコンをクリックします。音楽プレーヤーが表示されます。
2. 音楽プレーヤーのウィンドウの左側で、音楽ファイルが含まれるディレクトリに移動します。このディレクトリは、ハードドライブまたは外付けドライブのどちらにあってもかまいません。
3. ウィンドウの右側にある一覧から、再生する音楽ファイルをクリックします。
4. 音楽の選択を完了したら、ウィンドウの右下にある[再生]アイコンをクリックします。

写真の参照

写真を表示するには、以下の手順で操作します。

1. 起動バーの[写真]アイコンをクリックします。フォト ビューアーが表示されます。
2. フォト ビューアーのウィンドウの左側で、写真が含まれるディレクトリに移動します。このディレクトリは、ハードドライブまたは外付けドライブのどちらにあってもかまいません。フォト ビューアーのウィンドウの右側には、選択されたディレクトリ内のすべての写真のサムネイル ビューが表示されます。
3. 表示する写真のサムネイルをダブルクリックします。

   写真のサムネイル ビューがフォト ビューアーのウィンドウの右下に表示されます。それらのサムネイルの上に、選択された写真のより大きなビューが表示されます。
4. 右向き矢印キーまたは左向き矢印キーを押すか、または次に拡大するサムネイル イメージをクリックすることによって、サムネイル ビュー内を移動します。

[チャット]を使用したインスタント メッセージの作成

[チャット]は、[Google Talk]、[Windows Live Messenger]、[Yahoo! Messenger]、およびその他のプロバイダーに対応したインスタント メッセージング プログラムです。

インスタント メッセージング セッションを開始するには、以下の手順で操作します。

1. 起動バーの**[チャット]**アイコンをクリックします。友人の一覧ウィンドウと設定ツールが表示されます。
2. 友人の一覧ウィンドウで、**[ヘルプ]**をクリックして、インスタント メッセージング プロトコル用の**[チャット]**の設定やアカウントのセットアップに関する情報を入手します。また、既存のインスタント メッセージング アカウントと連携するように**[チャット]**を設定することもできます。

[Skype]を使用したインターネット電話の利用

[Skype]は、他の[Skype]ユーザーと無料で通信できるボイス オーバー インターネット プロトコル（VoIP）です。また、多くの長距離電話会社の料金より低いコストで、固定電話への長距離電話をかけることもできます。

[Skype]のアカウントがすでに設定されている場合に、[Skype]を使用して電話会議またはビデオ チャットを開始するには、以下の手順で操作します。

1. 起動バーの[Skype]アイコンをクリックします。**[[Skype]にサインイン]**ウィンドウが表示されます。
2. Skype名およびパスワードを入力して、**[サインイン]**をクリックします。
3. 画面の説明に沿って操作し、電話会議またはビデオ チャットを開始します。

[Skype]のアカウントが設定されていない場合に、[Skype]を使用して電話会議またはビデオ チャットを開始するには、以下の手順で操作します。

1. 起動バーの[Skype]アイコンをクリックします。**[[Skype]にサインイン]**ウィンドウが表示されます。
2. **[アカウントを開設]**リンクをクリックします。
3. 処理を続行する前に、**[新規アカウントの作成]**ウィンドウの一番下のリンク情報を参照して、利用規約および[Skype]を使用することで発生する可能性のある料金について確認してください。

✎ [Skype]の使用について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

第4章 コンピューターの保護

ウィルスからのコンピューターの保護

コンピューターで電子メールを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、コンピューターがコンピューター ウィルスの危険にさらされます。コンピューター ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、プログラム、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すると、既知のウィルスを検出および駆除したり、多くの場合はウィルスの被害にあった箇所を修復したりできます。新しく発見されたウィルスからコンピューターを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

コンピューターには、[Norton Internet Security]がプリインストールされています。

- プリインストールされているバージョンの[Norton Internet Security]は、使用開始後60日間は無料でアップデートできます。無償アップデート期間の終了後も、延長アップデート サービスを購入してコンピューターを最新のウィルスから保護することを強くおすすめします。
- [Norton Internet Security]にアクセスしたり、ソフトウェアに関する詳しい情報を調べたりするには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]の順にクリックします。

システム ファイルの保護

オペレーティング システムやバックアップおよび復元用ソフトウェアには、システムのバックアップとシステムの機能を最適な状態に復元するためのいくつかの方法が用意されています。それらの情報については、「第7章 バックアップおよび復元(Windowsのみ)」を参照してください。

プライバシーの保護

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、使用者や使用しているコンピューターの情報を第三者が不正に取得してしまう可能性があります。

コンピューターのプライバシー保護の機能を最大限に活用するため、以下のようにしてください。

- オペレーティング システムおよびソフトウェアを最新の状態に保ちます。ソフトウェア アップデートの多くは、セキュリティを強化するためのものです。
- ファイアウォールを使用します。ファイアウォール ソフトウェアは、お使いのコンピューターでの受信の流れを監視し、指定のセキュリティ基準を満たさないメッセージを遮断します。一部のファイアウォールは、送信の流れも監視します。

サージ電圧からのコンピューターの保護

不安定な電力供給や雷などによって発生する可能性のあるサージ電圧からコンピューターを守るために、以下の点に注意してください。

- コンピューターの電源コードを、別売の高品質なサージ プロテクターに接続してください。サージ プロテクターは、一般のコンピューター販売店や電化製品店で購入できます。
- 雷が発生している間は、コンピューターをバッテリ電源で動作させるか電源を切って、電源コードおよびネットワーク ケーブルなど、コンピューターに接続されているコードやケーブル類を抜いてください。
- モデムへのサージ対策が必要な地域では、モデムを電話回線に接続するモデム ケーブルにもサージ対策を行ってください。多くの地域で、電話回線用のサージ プロテクターは、一般のコンピューター販売店や電化製品店で購入できます。

コンピューターのシャットダウン

コンピューターをシャットダウンするには、以下の手順で操作します。

1. データを保存し、すべてのプログラムを終了します。
2. [スタート]→[シャットダウン]の順にクリックします。

コンピューターを安全に使用するために

警告：感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。
- コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピューターからではなくコンセントから抜いてください。
- 安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。

警告：操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の正しい姿勢、および健康上／作業上の習慣について説明しています。また、重要な電気的／物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』を参照するには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順にクリックします。一部のモデルでは付属の『User Guides』（ユーザー ガイド）ディスクにも収録されています。また、HPのWebサイト（http://www.hp.com/ergo/から**[日本語]**を選択します）からも入手できます。

警告：火傷やコンピューターの過熱を防ぐために、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターの動作中に長時間ACアダプターを皮膚、または枕や毛布、衣類などの表面が柔らかいものに接触させないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

警告：安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、製品に付属していたACアダプターかバッテリ、HPが提供する交換用ACアダプターかバッテリ、またはHPからオプション製品として購入した互換性のあるACアダプターかバッテリだけをお使いください。指定以外のACアダプターやバッテリを使用すると、怪我や事故、および機器の故障の原因となることがあります。

安全情報および規定情報について、およびバッテリの処理については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。[ヘルプとサポート]からこの文書を参照するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]の順にクリックします。一部のモデルでは付属の『User Guides』ディスクにも収録されています。

第5章 ネットワーク

✎ インターネット用ハードウェアおよびソフトウェア機能は、コンピューターのモデルおよびお使いの場所によって異なる可能性があります。

インターネットへの接続方法の選択

コンピューターでは、以下の2つのインターネットへの接続方法がサポートされています。

■ **無線**：モバイル インターネット接続には、無線接続を使用できます。コンピューターの既存のネットワークへの追加または無線ネットワークのセットアップについて調べるには、「無線ネットワークのセットアップ」のセクションを参照してください。

■ **有線**：RJ-11（モデム）コネクタ（一部のモデルのみ）に接続されたモデム ケーブル（別売）を使用してサービス プロバイダーに電話回線で接続したり、RJ-45（ネットワーク）コネクタを使用してブロードバンド ネットワークに接続したりして、インターネットに接続できます。

コンピューターのネットワーク機能を使用して高速ブロードバンド インターネット サービス プロバイダー（ISP）に接続するには、以下のものを使用します。

■ ケーブル モデム

■ DSL（Digital Subscriber Line）

■ その他のサービス

ブロードバンド接続には、インターネット サービス プロバイダーより提供される追加のハードウェアやソフトウェアが必要となる場合があります。

Bluetooth®デバイス（一部のモデルのみ）は、パーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立して、他のBluetooth対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続します。PANでは、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距離になければなりません（通常は約10 m以内）。

✎ Bluetoothテクノロジは、[HP QuickWeb]でサポートされていません。詳しくは、Windowsの[ヘルプとサポート]に収録されている『ユーザー ガイド』を参照するか、一部のモデルに付属の『User Guides』（ユーザー ガイド）ディスクを参照してください。

インターネット サービス プロバイダー（ISP）の選択

インターネットに接続する前に、インターネット サービスをセットアップする必要があります。コンピューターに含まれる次のソフトウェアを使用して、新しいインターネットのアカウントを作成するか、またはコンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定できます。

■ Windowsの[インターネットへの接続]ウィザード

Windowsの[インターネットへの接続]ウィザードの使用

以下の場合は、Windowsの[インターネットへの接続]ウィザードを使用してインターネットに接続できます。

■ すでにISPのアカウントを持っている場合

■ ISP提供のディスクがある場合

■ インターネット アカウントを持っていないが、ウィザード内の一覧からISPを選択する場合（ISPの一覧は地域によっては表示されない場合があります）

■ 一覧にないISPを選択し、そのISPから特定のIPアドレス、POP3、およびSMTP設定などの情報が提供された場合

Windowsの[インターネットへの接続]ウィザードにアクセスしたりウィザードの使用手順を確認したりするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順にクリックし、「インターネットへの接続ウィザード」と入力して検索します。

 ウィザード内でWindowsファイアウォールの有効/無効を選択する画面が表示された場合は、ファイアウォールを有効にします。

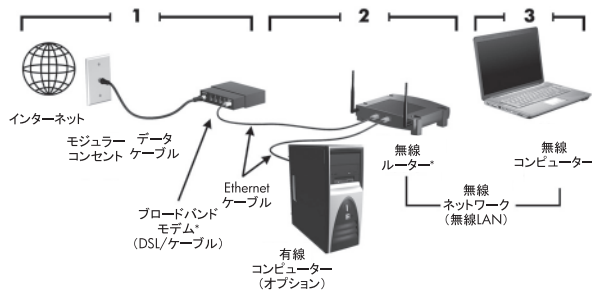
 Windowsの[インターネットへの接続]ウィザードは、[HP QuickWeb]からは使用できません。

無線ネットワークのセットアップ

このセクションでは、無線機能を搭載したコンピューターを使用した、標準的な家庭または小規模オフィスの無線ネットワーク（無線ローカル エリア ネットワーク（無線LAN）とも呼ばれます）のセットアップに必要な手順について説明します。

無線ネットワークをセットアップしてインターネットに接続するには、以下の機器が必要です。

- インターネット サービス プロバイダー（ISP）から購入した、ブロードバンド モデム（DSLまたはケーブル）および高速インターネット サービス
- 無線ルーター（別売）
- お使いの無線コンピューター

以下に、インターネットおよび有線コンピューターに接続した無線ネットワークの全体図の例を示します。ネットワークの規模の拡大に応じて、追加の無線コンピューターおよび有線コンピューターをネットワークに接続してインターネットにアクセスできます。

手順1：高速インターネット サービスの購入

すでに高速インターネット サービス（DSL、ケーブル、または衛星通信）を使用している場合は、「手順2：無線ルーターの購入および設置」を参照します。これから高速インターネット サービスを使用する場合は、以下の手順で操作します。

1. コンピューターをお使いの地域のインターネット サービス プロバイダー（ISP）に問い合わせて、高速インターネット サービスおよびDSLまたはケーブル モデムを購入します。ISPによっては、モデムをセットアップし、ネットワーク ケーブルを取り付けて無線コンピューターをモデムに接続し、インターネット サービスをテストするまでの手順をすべてサポートしている場合もあります。
2. ISPから、インターネットにアクセスするためのユーザーIDおよびパスワードが提供されます。これらの情報を書き留めて、安全な場所に保管しておいてください。

手順2：無線ルーターの購入および設置

お使いの無線コンピューターを使用して無線ルーターを設置する場合は、このセクションに記載されている内容をよく読んでから、ルーターの製造元の説明書に沿って作業してください。ルーターの設置中に技術的なサポートが必要な場合は、ルーターの製造元に問い合わせてください。

ルーターに付属のネットワーク ケーブルを使用して、新しい無線コンピューターを一時的にルーターに接続することをおすすめします。これにより、コンピューターがインターネットに接続できるかどうかを確認できます。

[HP QuickWeb]を有効にすると、コンピューターの電源を入れるたびに[HP QuickWeb]が起動します。以降のセクションは、[HP QuickWeb]を有効にしていることを前提にしています。[HP QuickWeb]を無効にするには、「第3章 [HP QuickWeb]の使用（一部のモデルのみ）」を参照してください。

1. コンピューターの電源がオフの場合、オンにします。[HP QuickWeb]の[Home]（ホーム）画面が表示されます。[Windowsの起動]アイコンの上の自動タイマーのカウンターがゼロになるまで待つか、[HP QuickWeb]の[Home]画面の左端にある[Windowsの起動]アイコンをクリックして、Windowsオペレーティング システムを起動します。

   [HP QuickWeb]のタイマーおよびタイマーの設定変更について詳しくは、[HP QuickWeb]のヘルプを参照してください。

2. コンピューター本体の無線ランプが消灯していることを確認します。無線デバイスがオンの場合は、無線ボタンを押すか無線スイッチをスライドさせて（お使いのモデルのコンピューターによって異なります）、無線機能をオフにします。無線ランプ、無線ボタン、または無線スイッチの位置を確認したい場合は、**[ヘルプとサポート]**の**[ユーザー ガイド]**から『ユーザー ガイド』を参照してください。
3. ルーターを設置中に、ルーターの製造元のソフトウェアを使用すると、ネットワーク名（SSID）を変更してセキュリティを有効にすることで、無線ネットワークのプライバシーを保護できます。多くのルーターは、工場出荷時に初期設定のネットワーク名が指定されており、セキュリティは無効になっています。ルーターのセットアップ時に初期設定のネットワーク名を変更したり、セキュリティを有効にしたりする場合はその情報を書き留め、安全な場所に保管しておいてください。コンピューターおよびその他の既存のコンピューターをルーターにアクセスするように設定する場合に、この情報が必要です。

✎ セキュリティを有効にしない場合、許可されていない無線ユーザーがコンピューターのデータにアクセスしたり、知らない間にインターネット接続を使用したりするおそれがあります。

Windowsオペレーティング システムにも、初めて無線ネットワークをセットアップする場合に役立つツールがあります。Windowsのツールを使用してネットワークをセットアップするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット]**→**[ネットワークと共有センター]**→**[新しい接続またはネットワークのセットアップ]**→**[新しいネットワークのセットアップ]**→**[次へ]**の順にクリックします。画面の説明に沿って操作します。

手順3：無線ネットワークに接続するためのコンピューターの設定

1. コンピューターの電源がオフの場合、オンにします。
2. 無線デバイスがオフの場合、無線ボタンを押すか無線スイッチをスライドさせて（お使いのモデルのコンピューターによって異なります）、無線機能をオンにします。無線ランプ、無線ボタン、または無線スイッチの位置を確認したい場合は、**[ヘルプとサポート]**の**[ユーザー ガイド]**から『ユーザー ガイド』を参照してください。

Windowsで、コンピューターを既存の無線ネットワークに接続するには、以下の手順で操作します。

[HP QuickWeb]を有効にすると、コンピューターの電源を入れるたびに[HP QuickWeb]が起動します。以降のセクションは、[HP QuickWeb]を有効にしていることを前提にしています。[HP QuickWeb]を無効にするには、「第3章 [HP QuickWeb]の使用（一部のモデルのみ)」を参照してください。

1. コンピューターの電源がオフの場合、オンにします。[HP QuickWeb]の[Home]（ホーム）画面が表示されます。**[Windowsの起動]**アイコンの上の自動タイマーのカウンターがゼロになるまで待つか、[HP QuickWeb]の[Home]画面の左端にある**[Windowsの起動]**アイコンをクリックして、Windowsを起動します。

   ✎ [HP QuickWeb]のタイマーおよびタイマーの設定変更について詳しくは、[HP QuickWeb]のヘルプを参照してください。

2. Windowsが起動したら、タスクバーの右端にある通知領域の**[ネットワーク]**アイコンをクリックします。
3. 接続先のネットワークを選択します。
4. **[接続]**をクリックします。
5. 必要に応じて、セキュリティ キーを入力します。

[HP QuickWeb]で、コンピューターを既存の無線ネットワークに接続するには、以下の手順で操作します。

1. コンピューターの電源がオフの場合、オンにします。[HP QuickWeb]の[Home]画面が表示されます。**[Windowsの起動]**アイコンの上の自動タイマーのカウンターがゼロになるまで待つか、[HP QuickWeb]の[Home]画面の左端にある**[Windowsの起動]**アイコンをクリックして、Windowsを起動します。

   ✎ [HP QuickWeb]の有効化について詳しくは、「第3章 [HP QuickWeb]の使用（一部のモデルのみ)」を参照してください。

2. 通知領域の**[ネットワーク]**アイコンをクリックします。
3. [Enable Wi-Fi]（無線LANを有効にする）チェック ボックスにチェックを入れます。接続したいネットワークを選択します。
4. **[接続]**をクリックします。
5. 必要に応じて、セキュリティ キーを入力します。

有線ネットワークへの接続

有線ネットワークに接続するには、RJ-11モデム ケーブル（コンピューターには付属していません）またはRJ-45ネットワーク ケーブル（コンピューターには付属していません）が必要です。ケーブルにテレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア❶が付いている場合は、コアが取り付けられている方の端❷をコンピューター側に向けます。

ケーブルを接続するには、以下の手順で操作します。

⚠ **警告：**火傷や感電、火災、機器の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルをRJ-45（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

---

1. ケーブルをコンピューター本体のコネクタに差し込みます❶。
2. ケーブルのもう一方の端を壁面等の差し込み口に接続します❷。

無線ワイド エリア ネットワーク（無線WAN）への接続（一部のモデルのみ）

無線WANは、モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこからでも情報へアクセスできる無線技術です。無線WANでは、各モバイル デバイスはモバイル ネットワーク事業者の基地局と通信します。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲にネットワークの基地局（携帯電話の通信塔に似ています）を設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。

 [HP QuickWeb] でアクセスする前に、Windowsで無線WANサービスを有効にしておく必要があります。

HPモバイル ブロードバンドを使用する前に、モバイル ブロードバンド データ サービス（モバイル通信事業者に別途申し込む必要があります）を有効にしておく必要があります。[HP Connection Manager]を使用してサービスを有効にできる場合があります。プロバイダーによっては、有効化された加入者識別モジュール（SIM）を入手する必要がある場合もあります。詳しくは、お使いのコンピューターに付属のHPモバイル ブロードバンドに関する情報を参照してください。

» Windowsで、[HP Connection Manager]を使用して無線WANサービスを有効にするには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Connection Manager]→[HP Connection Manager]の順にクリックします。

✎ [HP Connection Manager]の使用について詳しくは、[HP Connection Manager]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP QuickWeb]で無線WANサービスを有効にするには、Windowsで無線WANサービスを設定した後、以下の手順で操作します。

 [HP QuickWeb]でアクセスする前に、Windowsで無線WANサービスを設定しておく必要があります。

1. コンピューターの電源がオフの場合、オンにします。[HP QuickWeb]の[Home]（ホーム）画面が表示されます。
2. 通知領域の[ネットワーク]アイコンをクリックします。
3. [ネットワーク構成]ダイアログ ボックスの左側に表示される[WWAN (3G)]パネルをクリックします。
4. [接続]をクリックします。

 詳しくは、[HP Connection Manager]ソフトウェアのヘルプまたは無線WANプロバイダーが提供するソフトウェア ヘルプを参照してください。

第6章 ソフトウェアの使用

コンピューターには、プリインストールされているソフトウェアがあります。一部のモデルでは、付属のオプティカル ディスクに追加のソフトウェアも収録されています。

コンピューター上のソフトウェアを使用して、以下のものを含むさまざまなタスクを実行できます。

■ デジタル メディア（オーディオCD、ビデオCD、オーディオDVD、ビデオDVD、ブルーレイ ディスク（BD）など）の再生

■ インターネット ラジオの再生

■ データCDの作成（書き込み）

■ オーディオCDの書き込みおよび編集

■ ビデオDVDまたはビデオCDの書き込みおよび編集

この章では、これらのタスクの一部を実行する方法について説明します。また、コンピューター上のソフトウェアの確認およびアップデート方法についても説明します。

インストール済みソフトウェアの確認

コンピューターにプリインストールされているソフトウェアの一覧を表示するには、[スタート]→[すべてのプログラム]の順にクリックします。

 プログラムを開くには、プログラム名をクリックします。

 コンピューターに付属のソフトウェアの使用方法について詳しくは、ソフトウェアの製造元が提供する説明書を参照してください。説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、製造元のWebサイトで提供されている場合があります。

 コンピューターのセキュリティを強化するため、Windowsには、ユーザー アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windowsの設定変更などを行う時に、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用

[HP MediaSmart]を使用すると、コンピューターを持ち運び可能なエンターテイメント ツールとして利用できます。[HP MediaSmart]を使用して、音楽や映画を楽しむことができます。また、撮りためた写真を管理したり編集したりすることもできます。さらに、[HP MediaSmart]には以下の機能も含まれています。

■ インターネット テレビ：一部の国または地域にのみ提供されているサービスです。インターネットに接続して、さまざまなテレビ番組やチャンネルを視聴したり、コンピューターにストリーミング配信されるHP-TVチャンネルをフル スクリーン モードで楽しんだりできます。

■ 写真および動画のアップロードに対応（以下に例を示します）：

❑ [HP MediaSmart]の写真を、Snapfishなどのインターネット上の写真保存サイトにアップロードできます。

❑ ホーム ビデオなどの動画（内蔵Webカメラで撮影したお気に入り映像など）をYouTubeに直接アップロードできます。

[HP MediaSmart]を起動するには、タスクバーの[MediaSmart]アイコンをクリックします。

オプティカル ディスクからのソフトウェアのインストール

オプティカル ディスクからソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. オプティカル ドライブにディスクを挿入します。
2. インストール ウィザードが起動したら、画面の説明に沿って操作します。
3. コンピューターの再起動を求められた場合は再起動します。

コンピューターに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元のWebサイトで提供されていたりする場合があります。

CDまたはDVDの作成（書き込み）

お使いのコンピューターにCD-RW、DVD-RW、またはDVD+RWディスクをサポートするオプティカル ドライブが搭載されている場合、[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、データ ファイル、ビデオ ファイル、およびオーディオファイル（MP3、WAVなどの音楽ファイル）を書き込めます。

✎ [CyberLink Power2Go]ではオーディオDVDを作成できません。

CDまたはDVDに書き込むときは、以下のガイドラインを参考にしてください。

- ディスクに書き込む前に、開いているすべてのファイルを保存して閉じ、すべてのプログラムを終了します。
- CD-RWやDVD-RWは、一般的にはデータ ファイルの書き込みや、変更できないCDまたはDVDに書き込む前にオーディオや動画の記録をテストする場合に最適です。
- 通常、オーディオ ファイルを書き込む場合は、情報のコピー後は変更できないCD-RまたはDVD-Rを使用するのが最適です。
- ホーム ステレオやカー ステレオによってはCD-RWを再生できないものもあるため、音楽CDの書き込みにはCD-Rを使用します。
- ホーム システムで使用されるDVDプレーヤーは、通常、すべてのDVDフォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVDプレーヤーに付属の説明書を参照してください。
- MP3ファイルは他の音楽ファイル形式より必要とするファイルのサイズが小さく、MP3ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3ファイルは、MP3プレーヤーまたはMP3ソフトウェアがインストールされているコンピューターでのみ再生できます。

CDまたはDVDにデータを書き込むには、以下の手順で操作します。

1. 書き込むファイルを、ハードドライブのフォルダーにダウンロードまたはコピーします。
2. 空のCDまたはDVDをオプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順にクリックしてから、使用するプログラムの名前をクリックします。
4. データ、オーディオ、またはビデオなど、作成するCDまたはDVDの種類を選択します。

5. **[スタート]**を右クリックし、**[エクスプローラーを開く]**をクリックして、書き込むファイルを保存したフォルダーに移動します。
6. フォルダーを開き、空のオプティカル ディスクを挿入したドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

注意：情報の損失またはディスクの損傷を防ぐため、以下の注意事項を必ず守ってください。

- ディスクに書き込む前に、コンピューターを安定した外部電源に接続します。コンピューターがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。
- ディスクに書き込む前に、使用するディスク ソフトウェア以外の開いているすべてのプログラムを閉じます。コピー元のディスクからコピー先のディスクへ、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクへ直接コピーしないでください。コピー元のディスクまたはネットワーク ドライブからハードドライブへコピーした後、ハードドライブからコピー先のディスクへコピーします。
- ディスクへの書き込みが行われている間は、コンピューターのキーボードを使用したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

注意：著作権に関する警告に従ってください。コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的で使用しないでください。

コンピューターにインストール済みのソフトウェアのアップデート

オペレーティング システムを含め、ほとんどのソフトウェアは、製造元または提供元によって頻繁にアップデートされます。コンピューターが出荷された後で、コンピューターに付属するソフトウェアの重要なアップデートが行われる場合があります。

アップデートの内容によっては、別売のソフトウェアや外付けデバイスへのコンピューターの応答方法に影響を与える場合があります。アップデートの多くは、セキュリティ機能を強化します。

コンピューターをインターネットに接続したら、すぐにオペレーティング システムおよびコンピューターにインストール済みの他のソフトウェアをアップデートします。インストール済みのソフトウェアをアップデートするリンクにアクセスするには、**[ヘルプとサポート]**を参照してください。ソフトウェアのアップデートについては、各ソフトウェアのヘルプ等も参照してください。

第7章 バックアップおよび復元（Windowsのみ）

オペレーティング システムに組み込まれているツールおよび[HP Recovery Manager]（HPリカバリ マネージャー）ソフトウェアは、システムに障害が発生した場合に、以下のタスクによって情報を保護および復元できるように設計されています。

■ 情報のバックアップ

■ リカバリ ディスクの作成

■ システムの復元ポイントの作成

■ プログラムまたはドライバーの復元

■ システム全体の復元

リカバリ ディスクの作成

システムに深刻な障害が発生した場合や動作が不安定になった場合にシステムを工場出荷時の状態に復元できるようにするために、リカバリ ディスクを作成しておくことをおすすめします。リカバリ ディスクは、コンピューターを最初にセットアップした後、なるべく早く作成してください。

 一部のモデルのコンピューターでは、このタスクを実行するために別売の外付けオプティカル ドライブが必要です。外付けオプティカル ドライブは、ハブやドッキング ステーションなどの外付けデバイスのUSBコネクタではなく、コンピューター本体のUSBコネクタに接続する必要があります。

これらのディスクの扱いには注意して、安全な場所に保管してください。ソフトウェアを使用して作成できるリカバリ ディスクは、1セットのみです。

リカバリ ディスクを作成する前に以下のガイドラインをお読みください。

■ 高品質なDVD-R、DVD+R、BD-R（書き込み可能なブルーレイ）、またはCD-Rディスクを用意する必要があります。これらのディスクはすべて別売です。DVDには、CDよりはるかに大きな容量を書き込むことができます。CDを使用すると最大20枚のディスクが必要になる場合でも、DVDでは数枚のみで済みます。

 [HP Recovery Manager]ソフトウェアは、2層記録対応のディスクおよび書き換え可能なディスク（CD-RW、DVD±RW、BD-RE（再書き込み可能なブルーレイ）ディスクなど）に対応していません。

- リカバリ ディスクの作成中はコンピューターを外部電源に接続しておく必要があります。
- 1台のコンピューターにつき、リカバリ ディスクは1セットのみ作成できます。
- コンピューターのオプティカル ドライブにディスクを挿入する前に、各ディスクに番号を付けておきます。
- 必要に応じて、リカバリ ディスクの作成が完了する前にプログラムを終了させることができます。次回[HP Recovery Manager]を開くと、ディスク作成プロセスを続行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

リカバリ ディスクを作成するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→[Recovery Manager]→**[リカバリ ディスク作成]**の順にクリックします。
2. 画面の説明に沿って操作します。

情報のバックアップ

新しいソフトウェアを追加したりデータ ファイルを作成したりするにつれて、定期的にシステムをバックアップしてなるべく新しいバックアップを作成しておく必要があります。システムのバックアップは以下のタイミングで行います。

- 定期的な間隔

✎ 情報を定期的にバックアップするようにリマインダーを設定します。

- コンピューターを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

バックアップする場合、以下の点に注意してください。

- Windowsの[**システムの復元**]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にディスクにコピーします。
- 個人用ファイルを[**ドキュメント**]ライブラリに保存し、定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。

■ カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーン ショット（画面のコピー）を撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、スクリーン ショットを撮っておくと時間を節約できます。

画面をコピーしてワープロ文書などに貼り付けるには、以下の手順で操作します。

a. 画面を表示します。

b. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。

アクティブなウィンドウのみをコピーするには、[alt]＋[fn]＋[prt sc]キーを押します。

画面全体をコピーするには、[fn]＋[prt sc]キーを押します。

c. ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して、[編集]→[貼り付け]の順にクリックします。

d. 文書を保存します。

■ 情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。

■ ディスクにバックアップする場合、次の種類のディスク（別売）を使用できます。CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD-R、またはDVD±RW。使用できるディスクの種類は、お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブの種類によって異なります。

✎ DVDはCDより大きい容量を扱うことができるため、これらを使用すると、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数を減らすことができます。

■ ディスクにバックアップする場合、コンピューターのオプティカルドライブにディスクを挿入する前に、各ディスクに番号を付けておきます。

Windowsの[バックアップと復元]の使用

Windowsの[バックアップと復元]を使用してバックアップを作成するには、以下の手順で操作します。

お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

ファイルのサイズやコンピューターの処理速度によっては、バックアップ処理に1時間以上かかることがあります。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元]の順にクリックします。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップを設定および作成します。

コンピューターのセキュリティを強化するため、Windowsには、ユーザー アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windowsの設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

システムの復元ポイントの使用

システムをバックアップすると、システムの復元ポイントが作成されます。システムの復元ポイントを使用して、特定の時点のハードドライブのスナップショットに名前を付けて保存できます。その後に適用されたシステムの変更を元に戻す場合に、その時点に復元することができます。

以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイントの設定後に保存されたデータファイルや作成された電子メールには影響を与えません。

また、システム ファイルおよび設定の保護を強化するために、復元ポイントを追加することもできます。

復元ポイントの作成が必要なとき

- ソフトウェアやハードウェアを追加または大幅に変更する前
- システムが最適な状態で動作しているとき（定期的に設定します）

 復元ポイントまで復元した後で、その操作を元に戻すこともできます。

システムの復元ポイントの作成

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[システム]**の順にクリックします。
2. 左側の枠内で、**[システムの保護]**をクリックします。
3. **[システムの保護]**タブをクリックします。
4. **[保護設定]**の下で、復元ポイントを作成するディスクを選択します。
5. **[作成]**をクリックします。
6. 画面の説明に沿って操作します。

以前の日付および時刻への復元

正常に機能していた時点に作成した復元ポイントへ設定を戻すには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[システム]**の順にクリックします。
2. 左側の枠内で、**[システムの保護]**をクリックします。
3. **[システムの保護]**タブをクリックします。
4. **[システムの復元]**をクリックします。
5. 画面の説明に沿って操作します。

復元の実行

ファイルの復元は、以前バックアップを行ったファイルに対してのみ可能です。お使いのコンピューターをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]を使用してリカバリ ディスク（ドライブ全体のバックアップ）を作成することをおすすめします。

[HP Recovery Manager]ソフトウェアを使用すると、システムに障害が発生した場合または動作が不安定になった場合に、システムを修復または復元できます。[HP Recovery Manager]は、作成したリカバリ ディスクまたはハードドライブ上の専用の復元用パーティション（一部のモデルのみ）から実行できます。ただし、コンピューターにソリッド ステート ドライブ（SSD）が搭載されている場合、復元用パーティションが存在しない可能性があります。その場合、コンピューターにはリカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、このディスクを使用します。

Windowsには、**[システムの復元]**機能などの独自の修復機能が組み込まれています。これらの機能をまだ試していない場合は、[HP Recovery Manager]を使用する前に試してください。これらの修復機能について詳しくは、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順にクリックしてください。

工場出荷時の時点でプリインストールされたソフトウェアのみが、[HP Recovery Manager]によって復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元のWebサイトからダウンロードするか、または製造元から提供されるディスクから再インストールする必要があります。

リカバリ ディスクを使用した復元

リカバリ ディスクからシステムを復元するには、以下の手順で操作します。

1. すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 最初のリカバリ ディスクをオプティカル ドライブに挿入し、コンピューターを再起動します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

ハードドライブのパーティションを使用した復元（一部のモデルのみ）

一部のモデルでは、**[スタート]**メニューまたは[f11]キーを押して起動できる[HP Recovery Manager]を使用して、ハードドライブのパーティションから復元を実行できます。復元を実行すると、コンピューターのハードドライブの内容が工場出荷時の状態に戻ります。

コンピューターにSSDが搭載されている場合、復元用パーティションが存在しない可能性があります。コンピューターに復元用パーティションが存在しない場合、以下の方法による復元はできません。パーティションが存在しないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

パーティションから復元を実行するには、以下の手順で操作します。

1. 以下のどちらかの操作を行って、[HP Recovery Manager]にアクセスします。
   - ❑ **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→[Recovery Manager]→**[リカバリ マネージャー]**の順にクリックします。

   または

   a. コンピューターを起動または再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に[esc]キーを押します。

   b. [f11]キーを押して[HP Recovery]を起動します。

   [HP Recovery Manager]がロードされるには数分かかる場合があります。
2. [Recovery Manager]ウィンドウの**[システムの復元]**をクリックします。
3. 画面の説明に沿って操作します。

第8章 コンピューターの手入れ

ディスプレイの清掃

注意：コンピューターが完全に機能しなくなるおそれがありますので、水、クリーニング液、または化学薬品をディスプレイにかけないでください。

汚れやほこりを取り除くため、糸くずの出ない、軽く湿らせた柔らかい布を使用して定期的にディスプレイを清掃します。汚れが落ちにくい場合は、軽く湿らせた静電気防止の拭き取り用の布や静電気防止の画面用クリーナーを使用します。

タッチパッドおよびキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗います。

警告：感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

持ち運びおよび送付

最適な状態で使用するには、持ち運びおよび送付に関する以下の情報をお読みください。

- コンピューターを持ち運んだり荷物として送ったりする場合は、以下の準備を行います。
  1. 情報をバックアップします。
  2. すべてのオプティカル ディスク、およびメディア カードやExpressCardなどのすべての外付けメディア カードを取り出します。

注意：コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの保管、送付、持ち運びなどを行う前に、ドライブからメディアを取り出します。

3. すべての外付けデバイスをオフにして、コンピューター本体から取り外します。
4. コンピューターをシャットダウンします。

- 情報のバックアップ コピーの予備を1部作成して、持参してください。バックアップはコンピューターと別の場所に保管してください。
- 飛行機に乗る場合などは、コンピューターを手荷物として持ち運び、他の荷物と一緒に預けないでください。

注意：ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

- 航空会社によっては、機内でのコンピューターの使用が制限されることがあります。機内でコンピューターを使用する場合は、使用できるかどうかを航空会社にあらかじめ確認してください。
- 2週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、バッテリ パックを取り外して別々に保管します。
- コンピューターまたはドライブを荷物として送る場合は、緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ―取り扱い注意」と明記してください。
- コンピューターに無線デバイスまたは携帯電話機能（802.11b/gデバイス、GSM（Global System for Mobile Communications）デバイス、GPRS（General Packet Radio Service）デバイスなど）が搭載されている場合、特定の環境において、これらのデバイスの使用が制限される可能性があります。たとえば、航空機内、病院内、爆発物付近、および危険区域内です。特定の装置の使用制限に関する方針が不明な場合は、装置に電源を入れる前に承諾を得てください。
- コンピューターを持って国外へ旅行する場合は、次のことを行ってください。
  - 滞在先の国の通関手続きを確認してください。
  - 滞在する国に適応した電源コードを、滞在する国のHP製品販売店で購入してください。電源コードは、各国または地域の規格に合ったものを使う必要があります。

警告：感電、火災、装置の損傷などを防ぐため、コンピューターを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバーターは使用しないでください。

付録A トラブルシューティング

トラブルシューティング情報

お使いのコンピューターに問題が発生した場合は、問題が解決するまで記載されている順に以下のトラブルシューティングを実行してください。

■ この章の「クイック トラブルシューティング」を参照します。

■ [ヘルプとサポート]から、Webサイトへのリンクやコンピューターに関する詳しい情報にアクセスします。アクセスするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順にクリックします。

診断ツールおよび修復ツールの多くを実行するにはインターネット接続が必要ですが、[ヘルプとサポート]のようにコンピューターがオフラインの状態で問題を解決できるツールもあります。

クイック トラブルシューティング

コンピューターが起動しない場合

電源ボタンを押してもコンピューターが起動しない場合、問題の解決に以下の情報が役立つことがあります。

■ コンピューターが電源コンセントに接続されている場合は、電源コンセントに別の電化製品を接続してみて、コンセントから電力が正しく供給されていることを確認します。

このコンピューターに付属のACアダプター、またはHPによってこのモデルでの使用が許可されているACアダプターのみを使用してください。

■ コンピューターがバッテリ電源で動作しているか、電源コンセント以外の外部電源に接続されている場合は、ACアダプターを使用してコンピューターを電源コンセントに接続します。電源コードおよびACアダプターがしっかりと接続されていることを確認します。

コンピューターの画面に何も表示されない場合

コンピューターが起動していて電源ランプが点灯していても、画面に何も表示されない場合は、コンピューター本体のディスプレイに画像が表示される設定になっていない可能性があります。コンピューター本体のディスプレイに画面表示を切り替えるには、[f4]キーを押します。

 一部のモデルのコンピューターでは、[f4]キーと同時に[fn]キーを押す必要がある場合があります。

ソフトウェアが正常に動作しない場合

ソフトウェアが応答しない場合や正常に動作しない場合は、以下の操作を行います。

■ **[スタート]**→**[シャットダウン]**ボタンの隣の矢印→**[再起動]**の順にクリックして、コンピューターを再起動します。

この手順を使用してもコンピューターを再起動できない場合は、「コンピューターが起動しているが、応答しない場合」を参照してください。

■ ウィルス スキャンを実行します。コンピューターでのウィルス対策ソフトウェアの使用方法について調べるには、「第4章 コンピューターの保護」の「ウィルスからのコンピューターの保護」を参照してください。

コンピューターが起動しているが、応答しない場合

コンピューターが起動していても、ソフトウェアやキーボード コマンドに応答しない場合は、シャットダウンできるまで、記載されている順に以下の緊急停止手順を試してください。

△ **注意：緊急停止手順を使用すると、保存されていない情報は失われます。**

■ 電源ボタンを5秒程度押したままにします。

■ コンピューターを外部電源から切り離し、バッテリを取り外します。

コンピューターが異常に熱くなっている場合

使用中のコンピューターは、通常、触ると温かくなっています。ただし、コンピューターが異常に熱くなっている場合は、通気孔がふさがっているためにコンピューターの温度が上がりすぎている可能性があります。

コンピューターの温度が上がりすぎていると考えられる場合は、コンピューターの温度が室温と同じくらいになるまで待ちます。次に、すべての通気孔の周囲に障害物がない状態でコンピューターを使用していることを確認します。

警告：火傷やコンピューターの過熱を防ぐために、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターの動作中に長時間ACアダプターを皮膚、または枕や毛布、衣類などの表面が柔らかいものに接触させないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です。

外付けデバイスが動作しない場合

外付けデバイスが通常どおりに動作しない場合は、以下の作業を行います。

- デバイスの説明書の手順どおりに、デバイスをオンにします。
- デバイスを接続するケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認します。
- デバイスに十分な電力が供給されていることを確認します。
- デバイス（特に旧型の場合）がオペレーティング システムに対応していることを確認します。
- 適切なデバイス ドライバーがインストールされ、最新の状態にアップデートされていることを確認します。

コンピューターを無線ネットワークに接続できない場合

コンピューターを無線ネットワークに正しく接続できない場合は、以下のことを行います。

✎ 社内ネットワークに接続する場合は、IT管理者に問い合わせてください。

- [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[問題のトラブルシューティング]の順にクリックして、画面の説明に沿って操作します。
- コンピューターの無線デバイスがオンであることを確認します。
- コンピューターの無線アンテナの周囲に障害物がないことを確認します。
- ケーブルまたはDSLモデムおよびそれらの電源コードが正しく接続されており、ランプが点灯していることを確認します。
- 無線ルーターまたはアクセス ポイントが正しく電源アダプターおよびケーブルまたはDSLモデムに接続されており、ランプが点灯していることを確認します。
- すべてのケーブルをいったん取り外してから再び接続し、電源をいったん切ってから再び投入します。

✎ 無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報とWebサイトへのリンクを参照してください。

✎ モバイル ブロードバンド無線サービス（一部のモデルのみ）を有効にする方法については、コンピューターに付属のモバイル ネットワーク事業者に関する情報を参照してください。

付録B 仕様

作業環境

次の表には、コンピューターをさまざまな環境で使用したり運搬したりする場合に役立つ、作業環境に関する情報を記載します。

動作保証温度	
動作時（オプティカル ディスク書き込み中）	5～35℃
非動作時	-20～60℃
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	10～90%
非動作時	5～95%
最大標高（非与圧）	
動作時	-15～3,048 m
非動作時	-15～12,192 m

入力電源

ここで説明する電源の情報は､コンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC電源またはDC電源から供給されるDC電力で動作します。コンピューターは単独のDC電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用にHPにより提供および認可されているACアダプターまたはDC電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様のDC電力で動作できます。

入力電源	定格
動作電圧	18.5 V DCまたは19.0 V DC
動作電流	3.50 A、4.74 A、または6.50 A

コンピューターの動作電圧および動作電流は、コンピューターの裏面の規定ラベルに記載されています。

索引

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行